

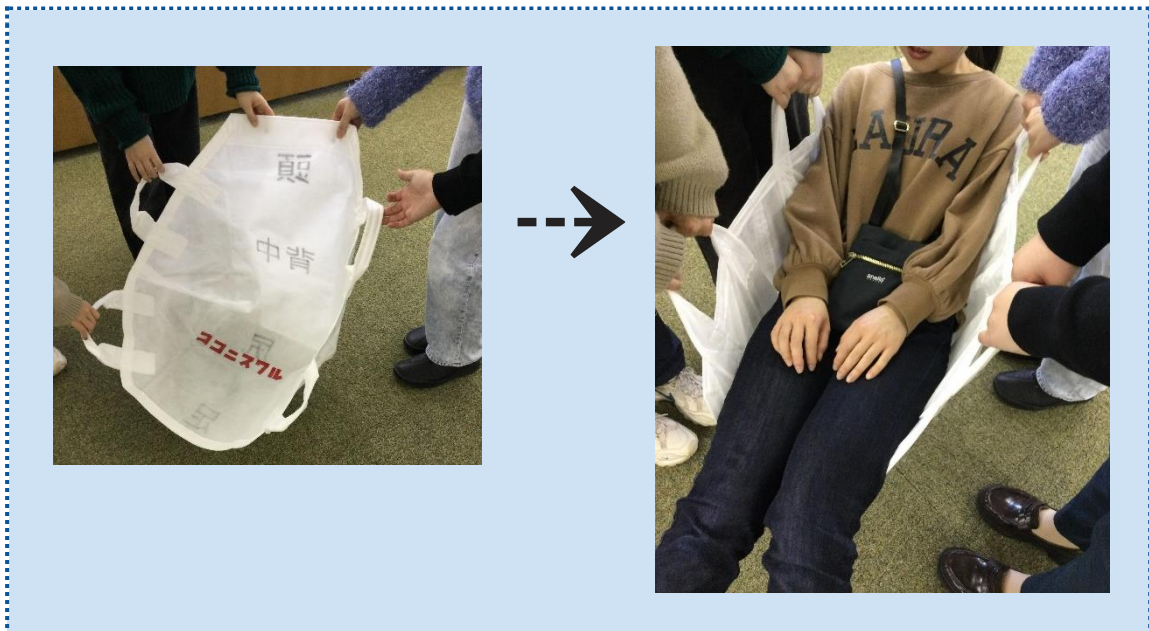
# 救い帯 (イス型担架) の使い方

## ① 平地バージョン

✓ 一般的な使い方はこちら

- (1) 平らで安定した場所に広げる
- (2) 傷病者を救い帯に深く座らせる
- (3) 持ち手をしっかり持ち、ゆっくりと水平に救い帯を持ち上げて傷病者を搬送する

☆ 傷病者をしっかりと背中に重心をかけさせると安定する



### 《注意点》

- 首から上を支えるものがないので自力で支えることが難しい場合は向いていない
- 2名以上で対応すること (最大4名は可能)
- どうしても搬送時に振動が伝わる
  - 傷病者の症状を見て使用しよう。使用することによって、傷病者の状態が悪化する可能性がないか注意。(首周りの怪我、足首・腰部の骨折等)

## ②椅子バージョン

✓ 傷病者が多少動ける場合はこの方法が搬送しやすい

- (1) 椅子に救い帯を置いてセットする
- (2) そのまま負傷者を椅子に座らせる
- (3) 持ち手をしっかり持ち、ゆっくりと水平に救い帯を持ち上げる

☆キャスター付きの椅子で移動しつつ、階段や狭い場所等では救い帯を併用して搬送するのが良い



- 運ぶコツ ✨: 搬送者間で声掛けして協力するように  
搬送だけではなく、傷病者の安否確認等の声掛けをして不安を解消していく
- 階段や狭い場所での搬送に効果を発揮する
- 軽量でコンパクトに折りたためるので、災害備蓄用や感染予防の使い捨て担架に適している

📍 救い帯保管場所: 総合支援センターキャンパス自立支援室・学生支援相談室

作成: 総合支援センターキャンパス自立支援室  
学生サポートスタッフ AR メンバー (2024 年 2 月)